



小樽市議会ホームページQRコード

携帯電話やスマートフォンから「市議会会議録」や「おたる市議会だより」などをご覧になれます。

おたる市議会だより

Otaru
City Council
Newsletter



第 96 号

発行/小樽市議会 編集/小樽市議会広報編集委員会
小樽市花園2丁目12番1号 TEL 22-2847 FAX 22-2315

令和6年5月1日発行

国際インフォメーションセンター開設



小樽港第3号ふ頭基部で整備が進められていた「小樽国際インフォメーションセンター」が3月25日にオープン。同日に行われた落成式には、市議会から議長・副議長および経済常任委員会委員が参列しました。

議会の動き

- 1月18日 議会運営委員会、第1回臨時会本会議
- 2月21日 議会運営委員会
- 26日 議会運営委員会
- 27日 本会議
- 3月4日 議会運営委員会、本会議(会派代表質問)
- 5日 議会運営委員会、本会議(会派代表質問)
- 6日 議会運営委員会、本会議(一般質問)、
予算特別委員会(正副委員長互選)
- 7日 予算特別委員会(総括)
- 8日 予算特別委員会(総務常任委員会所管事項)
- 11日 予算特別委員会(経済常任委員会所管事項)
- 12日 予算特別委員会(厚生常任委員会所管事項)
- 13日 予算特別委員会(建設常任委員会所管事項)
- 14日 予算特別委員会(総括)
- 15日 総務・経済両常任委員会
- 18日 厚生・建設両常任委員会
- 22日 議会運営委員会、本会議



国際インフォメーションセンター内には観光案内所や地場産品などを販売する売店が設けられ、駐車場には休憩や飲食のブースもあります。

令和6年 第1回臨時会・第1回定例会

第1回臨時会は、令和6年1月18日の1日間の会期で開かれ、市内全小中学校校舎の冷房設備設置工事請負契約について審議しました。

第1回定例会は、2月27日から3月22日までの25日間の会期で開かれ、令和6年度当初予算案および令和5年度補正予算案など53件の議案について審議しました。

臨時会・定例会の議決結果は、11ページをご覧ください

みらいの主な質問

【代表質問】



小池 二郎 議員

能登半島地震に関連して

問 本市の地域防災計画は、どの程度の災害を想定して策定されているのか、示してください。

答 平成28年に北海道が行った地震被害想定調査結果のうち、倒壊家屋数や想定避難者数など、本市に最も被害が生じる可能性が高いとされた、北海道留萌沖におけるマグニチュード7・8規模の地震が発生した場合を想定しています。

市立病院の災害対策について

問 災害時に断水や停電などが発生した場合、災害拠点病院である市立病院では、大多数の透析患者を受け入れることになると予想されますが、何人の患者を受け入れることができるのか、示してください。

答 通常時は1日当たり2部体制で40名の透析を実施していますが、災害時には3部体制で60名の実施を想定しており、通常時より20名ほど多く受け入れが可能ではないかと考えています。

いますが、被災によるスタッフの勤務体制や電力、給水の状態によっては人数制限が必要となり、透析の継続が不可能となった場合には、受入れを他院へ依頼することとしています。



看護師人材の確保について

問 看護師確保の方策を話し合う場として、市や医師会、看護協会、看護師人材を必要とする福祉施設関係者が参画できるような新たな協議会の設置を速やかに検討すべきと考えますが、見解を伺います。

答 今後、新たな看護学校の開設に代わる看護師確保対策を検討するため、医師会や関係機関、団体の協力を頂きながら、令和6年度の早い時期に協議組織を設置したいと考えています。

公設水産地方卸売市場について

問 市場再整備基本構想策定に係る事業費を令和6年度予算案で計上していますが、事業の内容について、示してください。

答 今後の水産卸売市場の在り方について、市場収入の向上策のほか、規模、機能および物流の効率化を配慮した施設づくりなど、市場関係者の意見も踏まえ、再整備に向けた基本構想を策定するものです。

【一般質問】



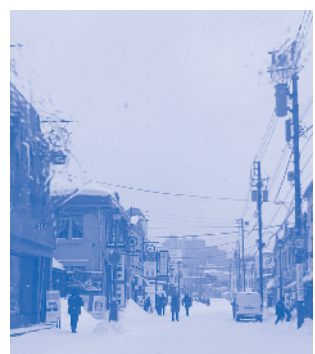
平戸 理史 議員

観光地の除排雪について

問 堺町本通線の歩道における除排雪について、予定していた作業を実施できなかったのか、また、実施できていないのであれば、その理由と見解、作業内容を示してください。

答 観光地に配慮し、車道の力作業で予定していましたが、記録的な大雪や暖気の影響により車両交通の確保を優先したことから、当該地の歩道除雪ができませんでした。そのため、当初予定していた作業を変更し、人力作業により急なスロープや段差解消を行うとともに、砂散

布を実施し、歩行者の転倒防止に努めました。



ネーミングライツについて

問 ネーミングライツの導入について、どこか一つの施設で試験的に募集し、必要であればルール策定を行うという方法もあると思いますが、見解を伺います。

答 愛称について、政治的・宗教的なものを禁止する事項など、一定程度のルール作りをする必要があると考えています。

一方で、自主財源確保策として有効な手法であり、早期に導入することも重要であることから、ルール作りと並行して、対象施設を検討していきたいと考えています。

空家対策特措法の改正について

問 管理不全空家等による指導・勧告を受けた場合とお金をかけて空家を売却した場合、どちらも住宅用地特例が解除され、除却するメリットが薄くなるため、固定資産税の住宅用地特例措置を一定期間据え置く制度の導入について、見解を伺います。

答 まずは法に基づいた施策を実施し、更なる施策が必要と判断した際には、特例措置の継続についても、検討していきたいと考えています。

【主な質問項目】

- ▽人口減少対策
- ▽フッ化物洗口の実施について
- ▽保健所と総合福祉センターの移転
- ▽町会支援について
- ▽小型除雪機の購入等支援制度
- ▽夜間急病センターについて
- ▽市道の維持管理と補修について
- ▽妊婦歯科健康診査事業について
- ▽ヒグマの春季管理捕獲について
- ▽大雪等の臨時休校について
- ▽学校年間予定の連絡時期について
- ▽学校のグラウンド整備について
- ▽カスハラを起ささないために
- ▽第3号ふ頭周辺のにぎわいづくり
- ▽運河プラザ再活用に向けて

※…11 ページの用語解説をご覧ください。

公明党の主な質問

【代表質問】



横尾 英司 議員

令和6年度予算主要事業

問

高校生までの医療費実質無料化や、放課後児童クラブの利用手数料無償化について、費用対効果や後年度負担、財源の内容と、それらを踏まえて今後も継続できるかの判断に至った理由について、示してください。

答

中長期財政収支計画において、今後10年間の収支を見込む中で、厳しい財政状況は続くものの、国等の補助金やふるさと応援基金などを活用するとともに、効果的に収支改善に努めることなどにより、事業を継続できると判断しました。

ウイングベイ小樽への行政機能等の移転

問

ウイングベイ小樽への行政機能の移転は、「こちらから市民がいるところに向きます」という発想の大きな転換になり、市役所へのイメージを変えるチャンスでもあります。市民の理解を深める機会と考えますが、見解を伺います。

答

民間の施設を活用すること、行政機関をより身近に感じ、今まで以上に市民ニーズに応えることができること、民間事業者との連携が深まることで、新たな行政サービスが生まれるなど、行政サービスの在り方について考える機会になると考えています。

産業会館の活用について

問

放課後に多くの高校生が勉強できる場所、安心できる場所、自分たちが考える活動ができる場所として、立条件の良い産業会館を活用することについて、見解を伺います。

答

勤労青少年ホームの環境整備を進めており、WiFi環境の整備を終えたところですが、高校生の利便性といった観点も踏まえ、今後、産業会館の活用方法の検討を進めるに当たり、参考としたいと考えています。



中心市街地への移転も含めた図書館の在り方

問

図書館は、その役割が変わりつつあり、にぎわいを創出することができる集客施設として注目されています。人口減少が進む中、魅力あるまちづくりを考えていく上で、中心市街地への移転も含めて、今後の図書館の在り方や活用の見直しの検討が必要と考えますが、見解を伺います。

答

中心市街地における公共施設の活用を検討する中で、図書館の設置の必要性を協議していくということになれば、教育委員会においても議論に参加したいと考えています。

避難所の開設について

問

災害時の避難所開設に関する内容や判断など、各避難所における具体的な方法について、施設管理者や町会役員などに説明や周知がなされているか、示してください。

答

災害時に町内会館を避難場所として活用する場合は、「災害発生時の町内会館等利用マニュアル」を説明し周知していますが、学校等の施設管理者には、これまで説明が十分ではなかったため、新年度に説明を行い周知を図りたいと考えています。

【一般質問】



白川 貴城 議員

子どもを性犯罪から守るA1アプリの導入について

問

子どもを被害者にも、加害者にもさせないために、愛知県警が開発したアプリ「コマモ」を周知し、1人1台端末にアプリをインストールしてどうかと考えますが、見解を伺います。

答

愛知県の一部市町村において行っている、本アプリの普及促進モデル事業の検証結果を踏まえて、高い効果が期待できると判断した場合には、その周知について、校長会や市PTA連合会と対応を協議するとともに、1人1台端末へのインストールについては、システム

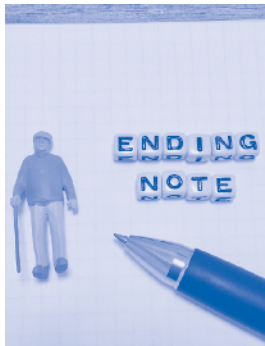
終活支援について

問

想定される不安ごとを事前に解消することで、自身の残りの人生を後悔なく、出来るだけ充実したものに、「終活」をサポートするための終活支援事業を検討すべきと考えますが、見解を伺います。

答

支援の取組について、横須賀市や東京都豊島区の事例をはじめ、幅広く情報の収集に努めたいと考えています。



【主な質問項目】

- ※ ナッジ・ユニットについて
- ※ GVビズIDでの法人等の行政手続について
- ▽市内公共施設のAEDに三角巾を
- ▽国際理解教育の充実について
- ▽代筆・代読支援員の派遣について
- ▽総合公園再整備事業について
- ▽クルーズ船について
- ▽小樽おもてなし規格認証について
- ▽公園に関する情報発信の充実を
- ▽放課後児童クラブの定員と受入れは
- ▽女性復職支援事業について
- ▽災害時の心のケアについて

※…11 ページの用語解説をご覧ください。

立憲・市民連合の主な質問

【代表質問】



高橋 龍 議員
たかはし りゅう

除排雪について

問 除排雪の人手不足の原因をどのように捉えているのか、どのような解決策を持ち得ているか、示してください。

答 全国的に建設業の高齢化が進み、担い手が不足しているため、本市でも同様の状況となっております。今後、大型特殊免許の資格取得や外国人材を雇用した事業者への支援など、他都市の事例も参考に調査研究を行いたいと考えています。



人口減少対策について

問 人口減少対策として、市内に滞在しながら地域の仕事を体験してもらう「ワーキングホリデー事業」の内容について、対象者や狙いなど具体的に示してください。

答 東京圏の若者世代をターゲットに、市内の短期間、短時間労働の求人者と求職者のマッチングを行い、本市に滞在し、働きながら地域の暮らしを体験してもらう事業であり、観光業を中心とした市内の労働力不足の解消や関係人口の創出、将来的な移住促進を図ることを目的としています。

新総合体育館の建設費の試算について

問 新総合体育館の建設費は、将来の価格上昇を勘案したものでか。最初の試算と直近の試算、その差が生まれた原因について示してください。

答 将来の価格上昇分は、不確定要素が多いため加算しておらず、最初と直近の概算事業費は、令和3年度の約58億円に対し、5年度は約76億6千万円となり、この差は、昨今の世界情勢と円安による資材価格や人件費の高騰に加え、ZEB化費用を加算したことが影響していると考えています。

新総合体育館の建設費の上限

問 新総合体育館の建設費に一定の上限は設けますか。

設ける場合は、どの程度が望ましいか、見解を伺います。

答 市の実質負担額を抑えていく必要があり、国庫補助や交付税措置で有利な市債などを活用したいと考えています。国等との具体的な協議は今後進めることとなっており、現時点で一定の上限を設けることは難しいと考えています。

【一般質問】



中村 誠吾 議員
なかむら せいいち

能登半島地震に関連して

問 災害時の連絡体制について、夜間や休日に災害が発生した場合に、市職員への情報伝達を正確かつ迅速に行える改善策を検討しているか、示してください。

答 非常配備の対象となる職員への情報伝達の改善策については、これまでの伝達手段に加え、「小樽市登録制メール」の活用や、消防本部が登録職員へ自動で電話連絡を行う「順次指令システム」の活用などについて検討を進めています。

ヒグマ対策について

問 市街地におけるヒグマ出没時の対応について、示してください。

答 通報があった場合、迅速にヒグマ防除隊、警察、市担当が現地に出動し、目撃情報や被害状況等を確認した上で、防除隊が現場周辺での痕跡確認と巡回パトロール、警察がパトカーによる現地と周辺市街地での巡回と警ら、市担当が町会や教育機関等への周知連絡を行い、必要に応じ、周辺の草刈りや広報車による注意喚起、近隣町会へのピラ配布、花火による追い立てなどを行っています。

特殊詐欺について

問 特殊詐欺の被害防止のため、関係機関との連携において、今後どのように取り組んでいくのか、見解を伺います。

答 市民が特殊詐欺の窓口とその対策についての知識を得ることが、被害防止に重要

であると考えており、引き続き関係機関と連携した年金支給日の街頭啓発や情報共有などを行うほか、高校や大学に加え、町会なども連携し、移動消費者教室を実施するなど、周知啓発活動に努めたいと考えています。

重層的支援体制整備事業について

問 重層的支援体制整備事業の実施に当たっては、縦割りをどう打破するかが喫緊の課題と思っておりますが、縦割りを打破できる工夫は含まれているか、示してください。

答 福祉専門職のコーディネートターを配置することで、庁内外の各分野の相談窓口によるネットワークを構築し、分野間の連携や情報共有を進め、効果的な支援を行いたいと考えています。

【主な質問項目】

- ▽小中学校でのフッ化物洗口について
- ▽避難行動要支援者個別避難計画
- ▽福祉避難所について
- ▽災害発生に備えた各種対応について
- ▽小樽市における特殊詐欺について
- ▽見積書、請求書等の押印の廃止等について
- ▽オタモイ海岸の開発について
- ▽鯨御殿ののり面修復について
- ▽三学期始業式の通学路の安全確保
- ▽子どもに関わる社会課題について
- ▽人口減少対策と関係人口の創出
- ▽新総合体育館の建設について
- ▽パラスポーツについて
- ▽エキノコックス症について
- ▽高齢者の健康寿命について

※…11 ページの用語解説をご覧ください。

自由民主党の主な質問

【代表質問】



まつい わ かずき
松岩 一輝 議員

タクシー不足について

タクシー不足となつてい
る本市の状況を踏まえ、
ライドシェアをどのように考え、
今後対応していくつもりか、見
解を伺います。

答

国が導入予定のライドシ
ェアは、本市におけるタ
クシー乗務員不足の解決の一助
になり得るものと考えています
が、現段階では制度の詳細が確
定していないので、今後、国の動
向を注視したいと考えています。



除排雪のデジタル化について

ホームページ上で、地域
ごとに除雪車の出動状況
を市民に知らせる仕組みについ
て、本市で導入する際の課題を
示してください。

答

システム導入に当たり、
初期費用やランニングコ

ストが生じること、また、除排
雪作業の事前公表やリアルタイ
ムに作業を公表することにより、
気象状況で予定を変更した場合、
付近住民の混乱を招くことや、
宅地からの雪出しによる交通障
害が発生するおそれがあること
が課題と考えられます。

令和6年度予算編成について

問

本市の人口減少問題の課
題である、若年層の社会
減対策を図るためにも、長岡市
の考えをそのまま小樽市に変換
し、若者主役のまちづくりを進
めるべきと考えますが、見解を
伺います。

答

長岡市が進める「若者を
主役としたまちづくり」
は、本市の人口減少対策の考え
方とも合致することから、事例
を研究し、今後の取組に生かし
ていきたいと考えています。

小樽市自治体DXに関する 全体方針について

問

業務の効率化や自動化な
ど様々な分野で活用が期
待される一方、フェイクユニ
ーア生成などのリスクもある生成
AIは、市の業務上必要不可欠
な存在になることが予想されま

すが、業務利用に対する認識を
示した上で、業務への活用につ
いて見解を伺います。

答

職員の情報収集や文章作
成が効率化されるほか、
アイデア検討の支援など、生
産性を向上させるものと認識し
ています。一方、活用に当たつ
ては、正しい回答を導きやすく
する質問の方法などを学ぶ必要
があるほか、AIの回答が常に
正確ではないことへの留意や、
著作権の確認、情報漏えいへの
対策も必要であるため、実証実
験による検証などを通じて、検
討を進めたいと考えています。

【一般質問】



さとう なおみ
佐藤奈緒美 議員

北運河における不法係留について

問

北運河に不法係留船が2
隻あり、過去にはトラブ
ルもあつたと聞きますが、この
船主には、どのような働き掛け
をしているか示してください。

答

係留を許可していない船
舶2隻の移動について、
令和2年2月から行政指導を重
ねてきています。

町会活動における市備品の貸出しについて

問

椅子、テーブルなどの備
品が古くなり、買換え経

費がないという理由でイベント
の開催ができなくなっている町
会があるかもしれないため、市
の備品を貸出しできないか、見
解を伺います。

答

現状、市の備品の貸出し
は想定していませんが、
ニーズがあれば、その可否につ
いて検討したいと考えています。

町会活動における市職 員の手伝いについて

問

町会のイベントに市職員
が手伝いに出向くという
仕組みを作れないか、見解を伺
います。

答

町会活動の継続性の観点
から、地域住民の皆さん
に活動の重要性をご理解いただ
き、加入率を向上させることが重
要と考えており、そのための支援
は、市としても必要と認識した

上で、市職員のサポートについて
は、総連合町会のご意見を伺いな
がら、対応を考えていきます。

災害時の要支援者の把握について

問

災害時に円滑な支援が行
われるよう、要支援者を
どのような方法で把握し、どの
ような支援計画を立てるのか、
示してください。

答

避難行動要支援者の把握
方法については、福祉担
当部署のデータから対象者を把
握して名簿を作成し、警察等へ
の名簿情報の提供に同意してい
ただいた方に個別避難計画を作
成しています。また、計画の内
容は、災害時に円滑な避難支援
が行われるよう、避難場所や避
難経路、避難支援等実施者など
を定めたものです。

【主な質問項目】

- ▽教育行政執行方針と予算案について
- ▽保健所について
- ▽地方自治法の附属機関について
- ▽JR北海道の運休について
- ▽小樽市における医療体制について
- ▽たるたる支え愛ぷらんについて
- ▽民生委員、児童委員について
- ▽看護学校新設の検討終了について
- ▽防災用品と防災意識の喚起について
- ▽災害時の張碓峠の通行について
- ▽歳入増加への取組について
- ▽障がい者の施設外就労について
- ▽発注見通しと入札などの延期について
- ▽運河プラザについて
- ▽気象情報の入手とマメダスの導入について

※…11 ページの用語解説をご覧ください。

日本共産党の主な質問

【代表質問】



おめき 小貴 元議員

並行在来線、国や北海道の支援を求めよ

問 沿線自治体と協力し、並行在来線への支援を国や北海道に働き掛けていくつもりはないのか、見解を伺います。

答 整備新幹線の整備に関する基本方針において、並行在来線は、地方の力で維持することを原則としており、それを踏まえた上で、北海道新幹線の延伸に同意しているため、北海道に対し支援を求めることは可能かもしれませんが、国に対しては難しいと考えています。

介護人材確保を

問 介護人材確保のため、事例を調査した上で、事業者や関係団体と意見交換の取組を行う必要があると思いますが、見解を伺います。

答 北海道市長会における道内各市の介護人材確保の取組に関する調査結果を参考にするとともに、事業者へ直接ヒアリングを行い、積極的に情報

収集を行った上で、令和5年度から社会福祉法人や市内の事業所と人材確保の方策に関して意見交換を行っているところです。

石狩湾での軍事拠点化にストップを

問 石狩湾を軍事拠点化させないために、米艦船の小樽港への入港と「特定利用港湾」としての石狩湾新港の整備を止めさせるべきだと思いますが、見解を伺います。

答 米艦船の入港については、商業湾としての港湾機能に支障を来さないよう、受入れの可否を慎重に判断しているため、軍港化につながるものとは考えていません。また、石狩湾新港の整備については、国からの説明によると、民生ニーズに対応することを基本としており、既存の事業スキームに基づき実施されるものと考えています。

水泳の全道大会誘致に

問 新総合体育館の短水路公認プールを利用した全道大会開催の可能性があるのであれば、教育委員会として積極的に誘致に取り組むべきであると考えますが、見解を伺います。

新総合体育館のプール室で開催することが可能と思われる大会もありますので、教育委員会としても大会等の誘致を積極的に働き掛けていきたいと考えています。



答 新総合体育館のプール室で開催することが可能と思われる大会もありますので、教育委員会としても大会等の誘致を積極的に働き掛けていきたいと考えています。

【一般質問】



まついまみこ 松井真美子 議員

勤労女性センターについて

問 勤労女性の利用は無料ですが、一緒に利用する子どもにお金がかかるというの時代に合わせてきています。せめて一緒に利用する子どもは無料にすべきと考えますが、見解を伺います。

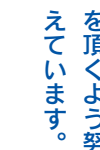
答 市内における子育て環境の整備は、重要な課題と認識していますので、その一施策として、同伴の子どもがいる場合の使用料の無料化について、今後検討していきたいと考えています。

総合福祉センターについて

問 移転に伴い、入浴サービス等利用者の合意・納得を得るためにどのように対応してきたのか、また、十分納得が得られているのか、見解を伺います。

答 今後、利用者に対し、丁寧な説明を行い、ご理解を頂くよう努めていきたいと考えています。

高速桂岡バス停を



さかい たかひろ 酒井隆裕 議員

問 「高速見晴」バス停は、桂岡地区から若干距離があるため、十万坪会館付近に「高速桂岡」バス停を設置できないのか、見解を伺います。

答 隣接するバス停との距離が近いことによる速達性

の低下、橋りよりの拡幅や用地買収による市の財政負担等の課題があり、これらを解決することは、非常に困難であると考えています。

国道5号立ち往生対策を

問 昨年、張碓峠付近の大型トレーラーの立ち往生により、国道5号が通行止めになったことから、国道5号の立ち往生対策が必要だと思いが、見解を伺います。

答 小樽開発建設部では、今冬から張碓峠山頂付近の駐車帯への除雪車の事前配備や大雪などが予想される場合の巡回除雪の実施などを決めたとこ

ろです。また、通行止め等の市民への情報提供の在り方については、小樽開発建設部と協議したいと考えています。

【主な質問項目】

- ▽地域防災計画について
- ▽新総合体育館プールは7レーンの検討を
- ▽義務教育に要する費用に支援を
- ▽会計年度任用職員給与遡及適用を
- ▽介護人材の確保を
- ▽効果あるポートセールスを
- ▽第3号ふ頭開発で港町小樽を壊すな
- ▽歩きたばこや受動喫煙の防止を
- ▽移住・定住促進住宅補助の増額を
- ▽小樽公園整備は広く市民の声を聞くべき
- ▽大雪を想定し除排雪の強化を
- ▽既存増でなく新看護学校検討を
- ▽放課後児童クラブ時間延長を
- ▽校外学習助成金増額せよ
- ▽脳外科分野の外来リハビリ実施を

令和6年度予算の概要

当初予算案を審議し可決しました

※金額は表示単位未満を四捨五入

提出された令和6年度予算案は、人口減少を「危機」と捉え、全体テーマを『「危機」に立ち向かい、希望が集まるまちづくり』とし、「人口の社会減を抑制し、将来に備える取組」、「まちの魅力を活かし、地域経済を活性化する取組」、「安全・安心を確保し、市民の暮らしを守る取組」の3つを基本方針としたものです。議会では予算特別委員会で審議の上、最終本会議において賛成多数により可決しました。

令和6年度予算の財政規模 (会計別対前年度伸び率)

※各年度、当初予算で比較

一般会計

620億2222万円
(5.1%)

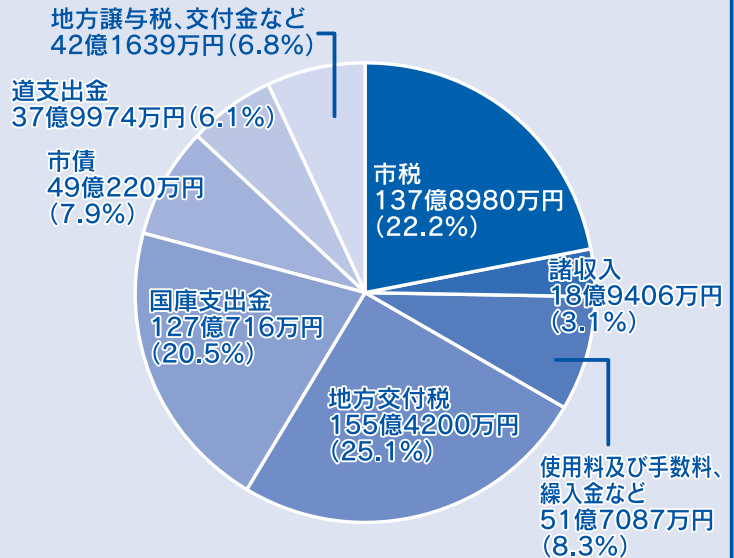
特別会計

港湾整備事業	6億1482万円 (16.9%)
水産物卸売市場事業	3865万円 (4.9%)
国民健康保険事業	130億9789万円 (▲1.2%)
住宅事業	9億75万円 (12.7%)
介護保険事業	152億1160万円 (▲2.4%)
後期高齢者医療事業	25億3290万円 (3.0%)

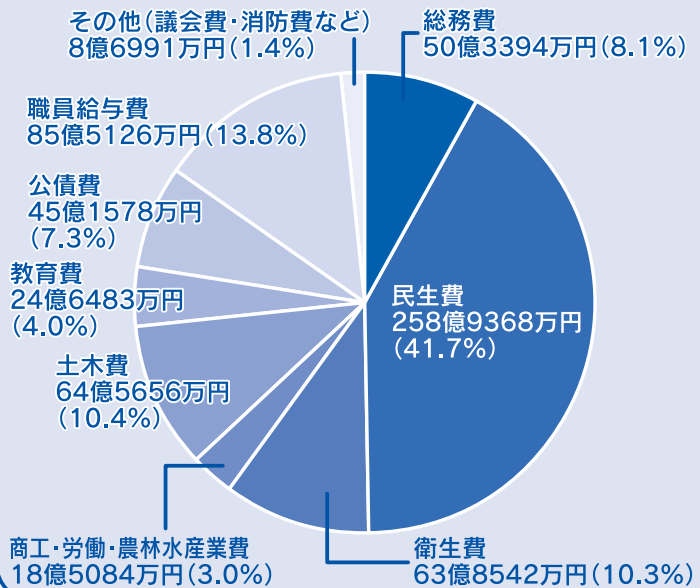
企業会計

病院事業	151億7812万円 (3.9%)
水道事業	56億1567万円 (4.5%)
下水道事業	71億7988万円 (▲0.6%)
産業廃棄物等処分事業	1億6769万円 (6.2%)
簡易水道事業	2億5415万円 (▲20.4%)

一般会計歳入 620億2222万円



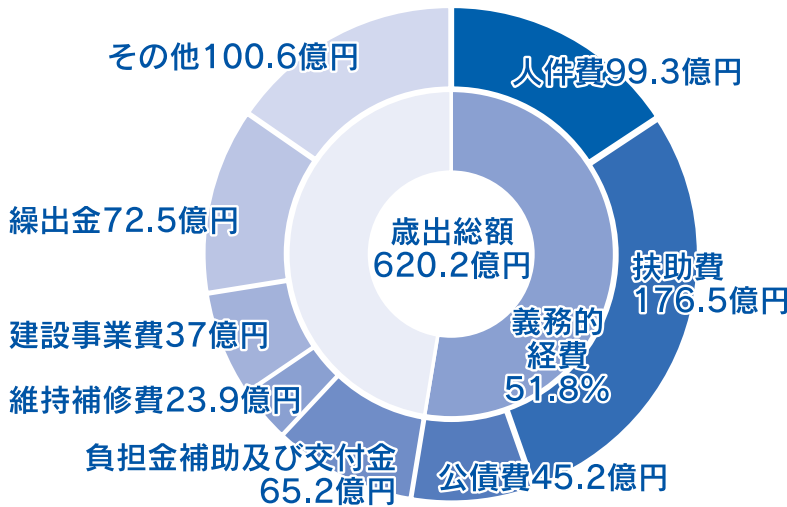
一般会計歳出 620億2222万円



小樽市の令和6年度一般会計予算額を1万円とすると、その使われ方は・・・

保育所、高齢者福祉、生活保護など 民生費 ……………4175円	市が借りたお金の償還金など 公債費 ……………728円
職員の給与など 職員給与費 ……………1379円	学校教育や図書館、体育施設など 教育費 ……………397円
道路、公園、港湾の維持整備、除雪など 土木費 ……1041円	商工業や観光、雇用、農林水産など
保健所や葬斎場、ごみ処理など 衛生費 ……………1030円	商工・労働・農林水産業費 ……………298円
庁舎の維持管理、戸籍管理、選挙など 総務費 ……………812円	議会、消防など 議会費・消防費・予備費など ……………140円

一般会計歳出を経費の性質別（経済的性質に着目して分類）で見ると・・・



左のグラフにある、「人件費」「扶助費（社会保障制度の一環として、児童・高齢者・障害者・生活困窮者などを支援するために要する経費）」「公債費」の3つの経費は、「義務的経費」といわれています。

この「義務的経費」は、家計に例えると、食費やローンの返済など、必ず支払わなければならない経費で、この割合が大きくなると自由に使えるお金が少なくなり、財政に余裕がないことになります。

義務的経費の割合の推移

令和6年度	令和5年度	令和4年度
51.8%	51.7%	52.6%

※各年度の当初予算時点

令和6年度当初予算 主要事業

令和6年度の予算に計上された主な事業のうち、新規事業を中心に、最重要課題である「人口減少対策」をはじめ、本市の持続力向上につながる6つのまちづくりの視点から分類して紹介します。

人口対策

- 医療扶助費 ……………1億4506万円
北海道による医療費助成に上乗せして市の独自助成を実施。8月診療分から助成対象を大幅に拡大し、高校生までの入院・通院医療費を実質無償化。
- 先進不妊治療費等助成事業費 ……………431万円
子どもを持ちたいと願う方が安全・安心な不妊治療を受けられるよう、保険診療と併用して行われる先進医療に要する医療費や交通費の一部を助成。

次世代を見据えたまちづくり

- 公開型GIS構築事業費 ……………1027万円
市民や事業者が、市役所に出向くことなく都市計画関連情報などを取得できるよう、市が保有するデータをインターネット上で公開。
- 公共施設等再編経費 ……………3億円
保健所やこども家庭センター等の行政機能のほか、関連機関等をウイングベイ小樽に移転し、公共施設等を再編。

魅力を活かしたまちづくり

- 重要文化財旧日本郵船(株)小樽支店保存修理工事ほか関連事業 ……………2億321万円
本市を代表する重要文化財である「旧日本郵船(株)小樽支店」の保存・活用を図るための耐震補強工事および保存修理を行うもので、令和6年度は、保存修理工事後のリニューアルオープンに向けた多言語看板や展示造作の整備、駐車場整備等を併せて実施。

活力を生み出すまちづくり

- 環日本海クルーズ推進事業費 ……………134万円
日本海側クルーズの寄港促進とブランド化を図るため、小樽港、秋田県3港、伏木富山港、京都舞鶴港、境港の5地域の共同でクルーズ船の誘致を実施。
- 教育旅行誘致促進事業費 ……………1200万円
教育旅行誘致のため、市から販売計画の承認を受けた旅行会社に対し、宿泊実績に応じた補助金を支給するもので、令和6年度は三大都市圏（東京、名古屋、大阪）での教育旅行説明会へ参加し、誘致活動を実施。

安全・安心なまちづくり

- 後志共同消防指令センター整備事業費 2800万円
後志管内消防指令業務の共同化に伴い、後志管内3消防本部（小樽市、岩内・寿都地方消防組合および北後志消防組合）が消防指令センターを共同で整備。
- 防災関係経費(避難支援事業) ……………770万円
土砂災害警戒区域等の大幅な指定増に伴い、同区域や津波・洪水の浸水想定区域を網羅して情報を更新し、見やすくした防災マップを作成するほか、避難行動要支援者（高齢・障害等の理由により自力での避難が困難な方）の個別避難計画を作成。

暮らしを支えるまちづくり

- おもてなし規格認証事業費 ……………98万円
小樽市役所として自治体初の「おもてなし規格認証」の取得を目指し、おもてなし向上に関する職員セミナー等を通じて、市民サービスの向上や市役所のイメージアップを推進。
- 高圧電気料金高騰対策支援事業費 …9100万円
電気料金の価格高騰の影響を受けている、高圧電力を契約または使用している事業者への支援。

予算特別委員会の委員長報告より

委員長報告を通して、各会派の質疑・質問の概要をお知らせします。
委員会質疑等の詳細については、市議会ホームページで後日公開する会議録をご覧ください。

▼自由民主党小樽市議会議員会

- 歳入増加への取組について、市は独自の財源確保として、ふるさと納税、企業版ふるさと納税、宿泊税の導入およびネーミングライツなどの推進強化が有用であり、他の自治体では、積極的な営業活動により企業版ふるさと納税の寄附額を増やしている事例がありますが、本市においても小樽にゆかりのある企業などに対してアプローチは行っていますか。また、遺贈寄附への取組に力を入れてもらいたいと思いますが、いかがですか。
- 予算計上においては、市民ニーズや社会の動向の把握には限界があるため政策に偏りが生じたり、何か新しい政策をしようとしても、その効果の検証が簡単ではないため前例踏襲の傾向が強くなったりすることが多いと一般的に言われていますが、E B P Mを活用することで、特に観光の分野で戦略的な施策展開が可能になると考えています。本市においても令和6年度の市

政執行方針の中でE B P Mを重要視していくことが示されていることから、今後さらにE B P Mの活用を推進し、その結果を踏まえた予算措置を徹底してもらいたいと思いますが、いかがですか。

- 除雪作業の必要性を判断するための降雪量のデータについて、本市では、気象庁のアメダスを用いていることですが、アメダス観測所は市内に1か所しかなく、東西に長く地域によって降雪状況が変わる本市において、1か所の観測データに頼ることは心もとないと感じています。気象観測には、市町村に複数の観測所を設置して観測が行える、マメダスという観測システムがあり、このシステムを使用することで、市内の地域ごとの気象状況が把握できるようになり、地域性を考慮した除排雪が行えることから、マメダスの導入について検討してもらいたいと思いますが、いかがですか。

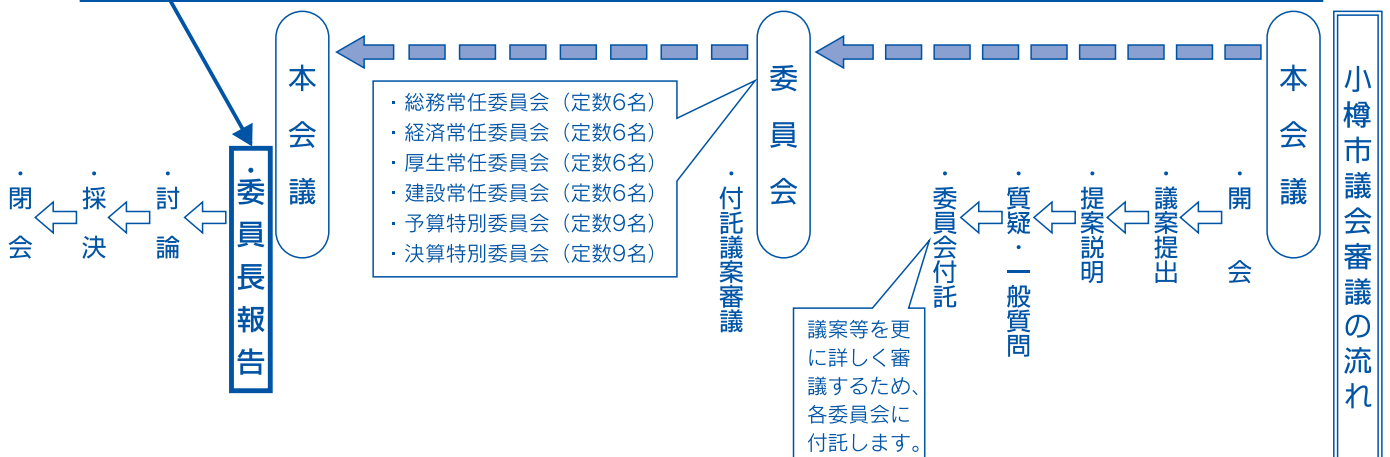
▼公明党小樽市議会議員団

- 本市の移住情報サイト「笑になるおたる」には、移住者の体験談が掲載されているものの、ここ1年程度は、本市で起業された4名の方の移住体験談しか掲載されていません。起業以外の理由で移住された方の体験談も掲載することで、より多くの移住希望者のニーズを掘り起こす必要があるほか、本市の認知度の高さを生かし、インスタグラムのストーリーズやハッシュタグのような機能を活用しながら、観光地でなく住んだときのイメージを持ってもらう情報発信の仕方を考えてもらいたいですが、いかがですか。
- 子ども・子育て支援事業計画推進事業費は、令和6年度は主にニーズ調査のためアンケートを実施し、把握したニーズを踏まえて計画の策定を進めていくことですが、近年、時代とともにニーズや家族の在り方

は変化しており、支援を求める声や日常の困りごとが多様化しているものの、子育て支援は、結果が見えるまで時間がかかることを踏まえると、数年先の結果を出していくためにも、現時点での計画や施策をしっかりと考えることが重要だと思いますが、市は、現行計画と比較し、次期計画の策定に向けて、どう考えていますか。

- 小樽公園の再整備を行う総合公園再整備事業について、遊具や園路、駐車場などの実施設計が予算計上されていますが、委託する事業者の選定はどのように行いますか。また、駐車場スペースの在り方や多目的トイレの設置など、利用者のニーズに配慮した再整備により、小樽公園がにぎわいの場所となるよう、しっかりと検討して実施設計を行ってほしいと思いますが、いかがですか。

委員長報告とは、委員会付託された議案等が各委員会で審議され、定例会最終日の本会議において、委員会での質疑・質問の概要および審議の経過と結果について各委員長が報告することです。



※…11 ページの用語解説をご覧ください。

予算特別委員会の委員長報告より

委員長報告を通して、各会派の質疑・質問の概要をお知らせします。
委員会質疑等の詳細については、市議会ホームページで後日公開する会議録をご覧ください。

▼立憲・市民連合小樽市議会議員会

- 本市におけるDXの基本的な方向性について、時間や場所にかかわらず必要な情報を受け取れ、手続等が行える市役所を目指し、手続のオンライン化やAIチャットボットの導入、オープンデータ等の情報提供の拡充など、市民目線に立ったサービスの向上に取り組むとしていますが、市では今年度までにどのようなことに取り組んでできましたか。また、令和6年度は、予算においてもDXのための経費が計上されていますが、具体的にどのようなことに取り組むつもりですか。
- 観光入込調査デジタル技術活用事業は、GPS人流データを用いて本市への来訪者等のデータを取得し、観光戦略の企画立案や各課題における効果的な施策検討に資する調査を実施するものですが、市は新たな調査方法を導入するメリットをどのように認識していますか。また、収集したデータを分析から政策立案につなげるためには、データをどのように共有するかが重要になりますが、共有についてどのように考えていますか。
- 市教委では、障がい者スポーツ普及イベントなどを開催したほか、本市で開催されたパラスポーツの大会の名義後援を行っているとのことですが、パラスポーツ競技には指導者が少ないと聞かれることから、指導者や選手の育成を行ってほしいと思いますが、いかがですか。また、年齢や性別、障がいの有無やスポーツの得意・不得意にかかわらず楽しむユニバーサルスポーツは、生涯スポーツの観点から普及することが大切だと考えますが、普及する考えはありますか。

▼みらい小樽市議会議員会

- 小学校でのフッ化物洗口を実施する、歯・口腔の健康づくり推進事業費が令和6年度予算に計上されていますが、フッ化物洗口の実施は、反対意見により先延ばしとなっていた経緯があることから、この度、保護者からの同意を得られたと考えてよいのでしょうか。また、実施や周知に当たっては、専門的な知識や最新の情報を持つ歯科医師会との連携をしっかりと図ってほしいと思いますが、いかがですか。
- 歴史的風致を維持・向上させ、後世に継承することを目的に、市町村が国の認定を受けて歴史的建造物の修繕などに国からの支援を受けるべく策定する、歴史的風致維持向上計画について、市は令和7年1月の認定を目指して作業を進めているとのことですが、計画の認定後、計画記載事項の実施スケジュールはどうなっていますか。また、歴史的風致形成建造物に指定された建造物の所有者に対する、国と市からの修繕費の補助はどのようにになりますか。
- 市有施設において、吹きつけ材や煙突の断熱材といった、アスベスト含有の建材を使っている設備がある場合、アスベスト対策工事として、アスベストの除去や囲い込み、定期的な点検を行っており、飛散のおそれがないことを確認しているとのことですが、市民の健康や安心・安全にかかわることなので、今後も適切に対応してほしいと思いますが、いかがですか。

▼日本共産党小樽市議会議員団

- 移住・定住促進住宅取得費等補助金は、新たに3世代で同居や近居をするため、本市に転入する方の中古住宅の購入や増改築などの経費の一部を補助するものですが、令和6年度の予算額は5年度までの300万円から200万円に減額されました。しかし、本事業は、子育て世代の転入と定住の促進が目的であることから、むしろ引き上げる必要があるほか、助成対象を3世代同居ではなく2世代同居へ変更するなど、改めて利用しやすい制度内容になるように検討してほしいと思いますが、いかがですか。
- 学校給食の原材料高騰分に対する補助と4月と5月の2か月分の無償化、また給食を食べていない児童・生徒の保護者に2か月分相当額を助成する、学校給食費保護者負担軽減事業について、報道では2024年通年の値上げ品目数は6月までの通年で5911品目とのことですが、計上の予算額で給食のメニューを減らさざるを得ないようなことは起こりませんか。また、国に給食費の通年無償化を行うよう要望しつつ、市として、せめて残りの10か月分を半額にすることを検討してほしいと思いますが、いかがですか。
- 水道料金・下水道料金の現在の基本水量は、2か月で20立方メートルとなっていますが、水道がよく使われる8月、9月でも、調定件数の約4割では使用水量が基本水量未満であり、さらにそのうちの6割は14立方メートル以下の使用水量とのことであるほか、水道料金が札幌市や近隣都市と比較して高いという声も聞かれることに鑑みると、上下水道ビジョンの中間見直しの際に、料金等を引き下げること検討してほしいと思いますが、いかがですか。

第1回臨時会 議案の議決結果について

全会一致で可決となったもの

区分	件名
市長提出	工事請負契約について [小中学校校舎冷房設備設置工事 (忍路中央小ほか9校)]
	工事請負契約について [小中学校校舎冷房設備設置工事 (花園小ほか8校)]
	工事請負契約について [小中学校校舎冷房設備設置工事 (桜小ほか8校)]

第1回定例会 議案等の議決結果について

全会一致で可決・承認となったもの

区分	件名
市長提出	令和5年度一般会計補正予算(先議分)
	令和5年度特別会計補正予算(国民健康保険事業、住宅事業、介護保険事業、後期高齢者医療事業)
	令和5年度企業会計補正予算(産業廃棄物等処分事業)
	職員の育児休業等に関する条例等の一部を改正する条例案
	特別職に属する職員の給与条例の一部を改正する条例案
	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案
	手数料条例の一部を改正する条例案
	債権管理条例の一部を改正する条例案
	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案
	さくら学園条例及び子ども発達支援センター条例の一部を改正する条例案
	産業廃棄物等処分事業設置条例等の一部を改正する条例案
	指定地域密着型サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例案
	指定介護予防支援等の事業の人員及び運営の基準等に関する条例の一部を改正する条例案
	指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例案
	中小企業等振興条例の一部を改正する条例案
	駐車場条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例案
	建築基準法施行条例の一部を改正する条例案
	水道施設工事監督者を配置する工事及び当該監督者の資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例案
	消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例案
	火災予防条例の一部を改正する条例案
	消防手数料条例の一部を改正する条例案
	工事請負変更契約について [重要文化財旧日本郵船株式会社小樽支店保存修理工事]
	工事請負変更契約について [桂岡小学校校舎等耐震補強ほか改修工事] (先議分)
動産の取得について [ロータリー除雪車(2.2m/2300t級)その1]	
動産の取得について [ロータリー除雪車(2.2m/2300t級)その2]	
動産の取得について [ロータリー除雪車(1.3m/700t級)]	
市道路線の変更について [樽川風防添線、樽川西循環連絡線、樽川西循環分線]	
専決処分報告 [令和5年度一般会計補正予算(地域生活支援事業費に係る予算)]	
専決処分報告 [令和5年度介護保険事業特別会計補正予算(高齢者世話付住宅生活援助員派遣事業費に係る予算)]	
議員提出	市議会委員会条例の一部を改正する条例案

態度の分かれたもの

区分	件名	各会派の態度					採決結果
		自民	公明	立・市	みらい	共産	
市長提出	令和6年度一般会計予算	○	○	○	○	×	可決
	令和6年度特別会計予算(港湾整備事業、水産物卸売市場事業、国民健康保険事業、住宅事業、介護保険事業、後期高齢者医療事業)	○	○	○	○	×	可決
	令和6年度企業会計予算(病院事業、水道事業、下水道事業、産業廃棄物等処分事業、簡易水道事業)	○	○	○	○	×	可決
	令和5年度一般会計補正予算	○	○	○	○	×	可決
	国民健康保険条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	×	可決
	介護保険条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	×	可決
	観光物産プラザ条例を廃止する条例案	○	○	○	○	×	可決
	第7次小樽市総合計画基本構想の変更について	○	○	○	○	×	可決
	PPP/PFI事業者選定委員会条例案	○	○	○	○	×	可決
	行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	×	可決
	地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	×	可決
	教育委員会教育長の任命について(中島正人氏)	○	○	○	○	棄権	同意
	議員提出	令和6年度一般会計予算に対する修正案	×	×	×	×	○
非核港湾条例案		×	×	○	×	○	否決

第1回定例会に提出された陳情・意見書の採決結果について

区分	件名	各会派の態度					採決結果
		自民	公明	立・市	みらい	共産	
陳情	政党機関紙の庁舎内勧誘行為の実態調査を求める陳情方について	△	△	△	△	△	継続審査
意見書	物価上昇に見合う高齢基礎年金等の引上げを求める意見書	×	×	○	×	○	否決
	食料自給率向上を政府の法的義務とすることを求める意見書	×	×	○	×	○	否決
	地方創生に貢献するサーキュラーエコノミー(循環経済)の一層の推進を求める意見書	○	○	○	○	×	可決
	精神障害者に対する公共交通機関の運賃割引制度の適用を求める意見書	○	○	○	○	○	可決
	生涯を通じた歯科健診の実現を求める意見書	○	○	○	○	○	可決
	若者のオーバーパードーズ(薬物の過剰摂取)防止対策の強化を求める意見書	○	○	○	○	○	可決
被災者生活再建支援法の支援対象などの拡充を求める意見書	○	○	○	○	○	可決	

第1回定例会において可決された意見書は、関係省庁等へ提出いたしました。
(自民=自由民主党、公明=公明党、立・市=立憲・市民連合、共産=日本共産党)

賛成○ 反対× 継続審査△

用語解説

- **ネーミングライツ** (2ページ)
公共施設の名前を付与する命名権と附帯する諸権利のこと。
- **カスハラ** (2ページ)
カスタマーハラスメントの略。顧客等からの暴言、暴行、不当な要求等の迷惑行為のこと。
- **ナッジ・ユニット** (3ページ)
関係府省庁や地方公共団体、産業界や有識者等からなる産学政官民連系の取組のこと。
- **GビズID** (3ページ)
1つのID・パスワードで様々な法人向け行政サービスにログインできるサービスのこと。
- **ZEB** (4ページ)
ネット・ゼロ・エネルギー・ビル。日射遮蔽、高断熱化な

- どによる省エネルギー化、太陽光発電などによるエネルギー削減により消費エネルギーが大幅に削減された建築物のこと。
- **ライドシェア** (5ページ)
一般ドライバーによる自家用車の相乗りサービスのこと。
- **長岡市の考え** (5ページ)
長岡に住み続ける若者、戻ってくる若者、新たに移住してくる若者を、しっかりと確保し人口減少を抑制し、愛着と誇りの持てる「ふるさと長岡」を作ることを目指す考え。
- **マメダス** (5ページ)
気象観測装置の一種。
- **EBPM** (11ページ)
エビデンス・ベースト・ポリシー・メイキングの略。エビデンスに基づく政策立案のこと。

数字で見る小樽市議会

小樽市議会が昨年（令和5年）中に行った会議の開催状況や議案の審議状況などを集計しました。会議の傍聴者数などと併せてお知らせします。

○本会議の開催状況

会議名	会期	会期日数
第1回定例会	2月21日 ～3月16日	24日
第1回臨時会	5月25日	1日
第2回定例会	6月13日 ～7月3日	21日
第3回定例会	9月5日 ～9月26日	22日
第4回定例会	12月5日 ～12月25日	21日

○委員会の開催状況

委員会		開催日数
常任委員会	総務	6日
	経済	5日
	厚生	5日
	建設	5日
特別委員会	予算	19日
	決算	5日
議会運営委員会		25日

○議案等の審議状況

区分		可決	否決	計
市長提出議案	条例	38	0	38
	予算関連	41	0	41
	決算関連	12	0	12
	その他の議案	26	0	26
	計	117	0	117
議員提出議案	条例	1	4	5
	意見書・決議	26	2	28
	その他	0	1	1
	計	27	7	34
総計		144	7	151

○会議傍聴者数（延べ人数） 本会議65人 委員会28人

○インターネットでの議会中継（生中継・録画中継）の視聴回数 31,303回

○市議会だより発行部数 1回当たり36,000部

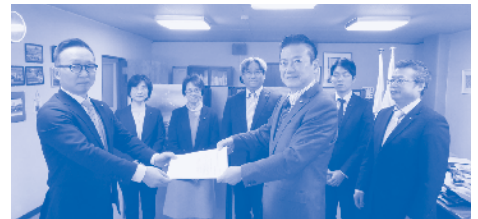
（2月・5月・7月臨・9月・11月の5回発行）

※「可決」に、同意、認定、承認を含む。

広報編集委員会が広報委員会になりました

小樽市議会広報編集委員会は、各会派から1名ずつ選出された委員によって構成され、「おたる市議会だより」の編集を専門で行ってききましたが、令和6年4月からは、小樽市議会広報委員会として生まれ変わり、「おたる市議会だより」だけでなく、小樽市議会の広報全般を担うこととなりました。

今後は、デジタルツール等も活用し、様々な方法により市民の皆様にもっと小樽市議会を身近に感じていただけるよう情報発信に努めてまいります。



鈴木議長から組織変更の了承を受ける横尾委員長

編集後記

「おたる市議会だより第96号」をお読みいただき、ありがとうございます。今定例会は令和6年度予算執行に関するものであり、保健所等の移転の問題、また時節柄、除排雪や元日に発生した能登半島地震を受けての防災関連の質問が多い傾向となりました。市民の皆様も今一度、防災用品のチェックはもちろん、避難所はどこなのかなどご確認いただきたいと思っています。新年度は皆様にとっても新たなスタートになるかと思いますが、本市でも新たな施策がスタートします。小樽港第3号小頭基部の小樽国際インフォメーションセンターのオープン、放課後児童クラブの無料化など多岐にわたります。

私たち、広報編集委員会もホームページやSNSなどを含めた広報全般を扱う広報委員会へと変わりました。私たちの役割であり、目指す所は市民の皆様により市議会の活動を広く知っていただくことです。今後も、市民の皆様により市議会に関心を持っていただけるよう努めてまいります。

是非ともこの市議会だよりを通じて、また本議会と委員会を議場や委員会室、またはYouTubeでご覧いただきたいと思っております。また、そこで感じた感想、ご意見をお寄せいただけましたら、今後の議会活動にいかしてまいります。

■広報委員

委員長 横尾 英司
委員 松井真美子
中鉢 淳二
平戸 淳史
中鉢 淳二
下兼 薫

■小樽市議会ホームページ（小樽市議会中継）

小樽市ホームページ <https://www.city.otaru.lg.jp> のトップページ「市議会」からアクセスしてください。

■「おたる市議会だより」に対するご意見、ご感想をお寄せください。

宛先（〒047-8660）小樽市花園2丁目12番1号 小樽市議会事務局 TEL 22-2847 FAX 22-2315 E-mail:gikai@city.otaru.lg.jp